



人に学び・物に学び・自然に学ぶ

三室中だより

《学校教育目標》 令和6年度第1号 令和6年4月8日(月)発行
自ら学ぶ生徒の育成 心豊かな生徒の育成 健康でたくましい生徒の育成

さいたま市立三室中学校
〒336-0912 ほんば
さいたま市緑区馬場1-38-2
学校 048-874-2331
FAX 048-810-1125
相談室 048-876-1731
<http://mimuro-j.saitama-city.ed.jp>

世の中にたえて桜のなかりせば

校長 廣江 剛

今年は桜の開花が遅れ、3月23日(土)に開催予定だった「見沼たんぼの桜回廊ライトアップ2024」がやむなく中止となったと伺いましたが、生徒達の入学・進級を祝うかのように本校の校庭の桜が満開を迎えました。



今年の冬は暖かかったから桜の開花も早いのでは？ここ数週間は寒かったから開花が遅れているよ。もしかしたら入学式に満開かな？さすがに散ってしまうかな？花見をするならいつだ？多くの人々が桜の開花状況にそわそわしたことでしょう。こういった気持ちは彼方昔より日本人の心に宿るもので、平安時代の『古今和歌集』に在原業平の有名な歌があります。「世の中にたえて桜のなかりせば春の心はのどけからまし」(この世の中に全く桜というものがなかったなら、春を過ごす人の心はどんなにのどかであることでしょうか)平安時代の人々も桜を愛し、桜が咲いたり散ったりすることにそわそわさせられていたことが伺えます。この歌のもと『伊勢物語』に登場するものであり、『伊勢物語』では、この歌に対する返歌として次のような歌が詠まれています。「散ればこそいとど桜はめでたけれ憂き世になにか久しかるべき」(桜は散るからこそいっそう素晴らしいのでしょうか。この世にいつまでも変わらないものなどありません。詠み人知らず)

さて、本校は、本日1年生273名を迎え、2年生277名、3年生282名、合計832名での船出となりました。お世話になった先生方や慣れ親しんだクラスとの別れ。そして、新しい先生方や新しいクラスでの出会い。わくわくする気持ちや不安な気持ち、色々な思いが交錯する春ですが、この世にいつまでも変わらないものなどありません。別れと出会いを受け入れながら、新たな自分へと成長するため、勇気ある一歩を踏み出しましょう。

令和6年度の学校教育目標は、昨年度と同様に「自ら学ぶ生徒の育成、心豊かな生徒の育成、健康でたくましい生徒の育成」とし、「人に学び・物に学び・自然に学ぶ」教育理念を継承してまいります。そして、学校経営方針として「教職員が生徒一人ひとりに寄り添い、生徒どうしが互いに磨き合う、明るく元気な学校を保護者や地域の方といっしょにつくる」をスローガンに掲げています。本年度も、様々な交流の場を通じて地域に根差した学校経営を進めていく所存です。今後も本校のために一層温かい御支援を賜りますよう、よろしく願いいたします。